

## にしとべの丘

令和6年3月号

2024年3月1日

横浜市立西中学校

ふえき りゆうこう  
不易と流行こうちょう いしかわ ひろし  
校長 石川 博

さくねん ちゅうおうきょういっくしんぎかい こんご きょういく あ かた きほんてき ほうこう しめ なか ふえき りゆうこう  
 昨年の中央教育審議会で今後における教育の在り方の基本的な方向を示す中で「不易と流行」という言葉が出てきました。これは私が好きな言葉のひとつです。

きょういくげんば ふえき しやかい へんか じだい こ か かわらな い 価値のあるものです。日本の学校ならでは規律、マナー、生徒と先生のあたたかい触れ合い、「日本の古き」に学ぶものもたくさんあります。

い言うまでもなく、「流行」とは時代の変化とともに変えていく必要があるものであり、時代の流れに柔軟に対応していくこともまた、教育に課せられた課題です。この3年間で学校のICTは急速に進展し、「教育DX（＝教育において最新のデジタルテクノロジーを活用すること）」という言葉もよく耳にするようになりました。

この「不易」と「流行」のどちらに軸足を置くのかはたいへん難しいところです。韓非（始皇帝の政治に影響を与えた思想家）

せいじ えいきょう あた しそうか ちよしょ 「かんびし」 にへい つか しょうと「罰」を上手にコントロールすることが人民をうまく治めるコツだ、と説いています。現在のところ西中では、課題がないわけではありませんが、教職員のチームワークで今の時代の生徒の状況にあった「不易」と「流行」のバランスが保たれているのではないかと思います。休み時間や放課後などでの生徒と先生の会話、保健体育の時間に担任の先生が一緒になって体を動かすこともありました。一方で、横浜市の施策により、ICT化が進められています。もちろん、本校が「最先端」のわけではなく、状況を見ながら少しづつ進めています。

ねんせい 10 かあま そつぎょう げんざい なかま  
 3年生はあと10日余りで卒業です。現在は、仲間どうしや先生との交流を通して巣立ちの準備をしています。こんなことをしているのは日本の学校だけではないかと思うこともあります。しかし、これは教育における「不易」の部分であり、学校が学校たる所以はここにあるのだかと思います。

ねんせい みな にしちゅう そうし あ じかん  
 3年生の皆さん、西中での総仕上げの時間をじっくりと味わいながら過ごし、よき巣立ちをしてください。きつとこれから先もがんばることができるはずです。



# 「2023年度神川大学SDGsアワード」表彰

西学区80周年を記念して開催された「にしく SDGs パネル展」(主催：西区役所)に、西中2年生が総合的な学習の時間で取り組んでいる「イノベーション・カンパニープロジェクト」についてまとめたパネルが出品されました。



そごう横浜店に展示された2年生のパネル

さらに、2年生が取り組むプロジェクトがこの度、神奈川大学主催の「2023年度神川大学SDGsアワード」で表彰されることになりました。式は3月2日(土)、神奈川大学みなとみらいキャンパス米田吉盛記念ホールにて行われます。今年度、総合的な学習の時間で「西区を今以上にもっと活気のあるまちにするためにできること」を考え、追及していきました。今後も生徒たちが主体的に課題を解決していく学習に積極的に取り組んでいきます。

## 1・2年生 ダンス発表会



1年生の発表会



2年生の発表会

1・2年生は体育科の授業で、グループごとに分かれてダンスに取り組んできました。先生が提示した候補曲の中からグループごとに選曲し、生徒たちが考えた振り付けや隊形移動も取り入れて学習を進めてきました。その成果を発表するため、1年生は2月27日(火)、2年生は28日(水)に「学年ダンス発表会」を行いました。各グループ、これまでの練習の成果を生かし、変化のある動きを組み合わせ、リズムに乗って全身で踊っていました。発表を見る際は、曲のリズムに乗って手拍子をうったり声援を送ったりするなど、学年が心を一つにそろえて、発表会を盛り上げていました。

## 3年生・西前小6年生 合唱交流会

今年度の卒業式で、3年生は合唱曲「群青」を歌います。西前小の6年生も卒業式で同じく「群青」を歌う、ということで、お互いの「群青」を聞きあう「合唱交流会」を2月29日(木)に西中体育館で行いました。まずは6年生の「群青」。美しい歌声を体育館に響かせました。次に3年生の「群青」。美しさだけでなく、力強さも加わった素晴らしい歌声が響きました。3年生の合唱を聞き、感動して目頭を熱くする先生の姿も見られました。合唱後、6年生からの「声がそろっていて美しかった」「迫力のある合唱だった」などの感想が発表されました。どちらの「群青」も最高の合唱となるよう、卒業式当日まで頑張っていました。



## 令和6年度 着任式・始業式 入学式 離任式について

- 着任式・始業式 4月8日(月) 9:40~10:10  
9:10~9:30 登校(昇降口で新学級の確認をして教室に入る)
- 入学式 4月8日(月) 13:30~
- 離任式 3月25日(金) 8:50~9:20 4月9日(火) 9:10~9:40



## コラム「食で学ぶ 食を学ぶ」3月号

もとよこはましきょういくいいん ながしま ゆか  
元横浜市教育委員 長島 由佳

「中学校卒業」という人生において1度きりの良き日を迎える季節となりました。辺りは桃の花や早咲きの桜が彩り、整えられた植え込みのパンジーや桜草もその時を待っているようです。

私自身、息子たちの成長とともにその時に感じる特別な時間に、目頭を熱くする感情を何度も何度も経験してきました。そして、PTAや教育・地域などとの関わりの中で、「卒業式」という厳かな時間に敬意を表する地域など関係者の方々にもたくさん出会ってきました。間違いなく言えることは、立場はそれぞれ違っていても、こども達の未来が輝かしいものであることを願ってやまない出会いであったということです。

さて、この季節の祝い日に欠かせないのが桜茶です。八重桜の塩漬けにお湯を注いで提供します。桜の花や葉の塩漬けには、抗菌作用や解毒作用があると言われ、テトックス効果が期待されています。季節の変わり目のこの時期に自然の恵みはその役割を果たしてくれています。また、その香り成分には鎮静効果があり、あの独特の香が鼻腔を刺激して、穏やかな気持ちにしてくれるのです。昨今では、その桜の塩漬けを活用した多種多様なスイーツや菓子、アロマ効果を狙ったハンドクリームや入浴剤はじめとする心身のケア製品など、それはそれは多くの商品に出逢います。街の店頭でもウクウクするお花見ができるほどの種類です。

私も、今年は時田中学校夜間学級における「食育講座」の卒業祝い弁当に、「桜わらび餅」を添えてみようかと考えています。記念の日に五感を研ぎ澄まし、3年間の学びとともにその香りと味を記憶していただければ良いなあと思っています。そして、穏やかな心で、また新たな社会で、自分を磨いていってほしいと心より願っています。

西中学校で育ったこども達にも、是非その穏やかな時間を共有していただけたらと思います。今年度最後のレシビとして掲載します。どうぞ、ご家族でチャレンジしてください。そして、西中を応援する人々全てが、湯呑みの中で花開く桜を自にするたびに、地域でこどもたちをともに育てているという自負心を抱きながら、こども達の輝かしい未来を願っているということ、その香りと味とともに感じていただければ幸いです。

最後に西中応援団の一員でいられた喜びと感謝を伝え、今年度のコラムを終えたいと思います。1年間ありがとうございました。

### さくらもち 桜わらび餅



わらび粉	150g	上白糖	100g		
さらし餡	200g	水	750cc	桜の花の塩漬け	5~6個ほど

- ① ボールにわらび粉と砂糖・さらし餡を入れ、そこに水を1/3ほど入れて、よく混ぜ合わせる。よくまざったら、のこりの水もいれる。
- ② 桜の塩漬けは、水にさらして塩みを少し抜き、花びらを軽く刻む。
- ③ ①をざるやこしきでこしながら、鍋に移し、②を加える。
- ④ ③の鍋を中火にかけて、木杓子で、鍋底から返すよう混ぜながら、透き通るまで練りあげていく。
- ⑤ パットに練りあがった③をまとめておとす。冷めたら、包丁でカットし、器に盛り付け、上からうぐいすきな粉などをふりかけると、春らしさがます。

※桜の花は、数を増やして、パットなどに流し入れた時に間隔を離しておいて、そのサイズでカットしたり、カップなどにながしても良い